

京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想の策定について

京都市中央卸売市場第一市場では、施設全体の老朽化対応はもとより、市場間競争の激化など、中央卸売市場を取り巻く環境変化に対応できるよう、施設整備の基本方針や周辺地域との連携等の基本的な方向性をまとめた「京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想（案）」を平成26年1月7日に公表し、同構想（案）に対する市民の皆様の意見を募集しました。

この度、市民の皆様からいただいた御意見を踏まえて、下記のとおり「京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想」を策定しましたので、お知らせします。

今後、本基本構想を基に、各施設の規模や階層の構成、市場内動線、整備スケジュールなど、施設整備の具体的内容を盛り込んだ「京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本計画（仮称）」の策定に向け、検討を進めてまいります。

記

1 市場経営コンセプト

<市場全体>

伝統と革新の調和による先進的で競争力・対応力を有する“食”の流通拠点

<青果物部門>

京都を中心に近畿・北陸圏域も見据えた生鮮食料品等の流通拠点の構築

<水産物部門>

経営改革と量販店対応の充実により第一市場からの水産物流通量を拡大

<青果物・水産物共通部門>

卸売市場の機能強化により、京都・日本の食文化を牽引

2 施設整備の方向性

- (1) 市場施設規模の「コンパクト化」
- (2) コンパクト化により生み出された有効活用地の活用
- (3) 市場施設の「効率化」「重層化（高層化）」
- (4) 物流動線等の効率化，適正化に向けた新千本通の拡幅
- (5) 閉鎖型施設の整備等によるコールドチェーン・衛生管理への対応
- (6) 災害時における生鮮食料品流通拠点機能の継続性の確保
- (7) 環境へ配慮した市場施設

3 市場施設整備の考え方

(1) 青果棟・水産棟の整備方針及び完成年次

- <青果棟> 整備方針：全面建替
完成年次：平成37年度
- <水産棟> 整備方針：改修
完成年次：平成31年度

(2) 効率的な物流動線の整備

(3) 賑わいエリアの創出

<資料>

- 京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想 (別紙1)
- 京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想 <概要版> (別紙2)

<参考>

京都市中央卸売市場第一市場施設整備基本構想（案）に対する市民意見募集の結果について

1 市民意見の募集期間

平成26年1月7日（火）～2月5日（水）

2 応募結果

応募総数 197名（意見数467件）

3 御意見の内訳

意見区分	件数	区分	件数
① 市場施設整備と必要機能	84	⑦ 積極的な民間活力導入の推進	17
② 衛生・品質管理と食の安全・安心	78	⑧ 市場への付加価値施設の設置	14
③ 駐車場・動線整備の効率化	68	⑨ 市場の防災・防犯対策	14
④ 観光・賑わい整備と地域活性化	60	⑩ 市場施設整備における環境配慮	13
⑤ 市場経営の適正化・合理化	50	⑪ その他	44
⑥ 市場PRと市民への市場開放	25	合計	467

4 主な御意見（要旨）と御意見に対する本市の考え方

別紙3のとおり